**第３・４学年　学級活動（２）学習指導案**

令和５年　９月１１日（月）　　第５校時

　場所：３・４年教室

１　題材名　　自分と相手の感じ方のちがい

イ　よりよい人間関係の形成

２　題材設定の理由

（１）児童観

（略）

（２）題材観

本題材は、学級活動「（２）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の内容「イ　よりよい人

間関係の形成」に関わる題材である。学習指導要領解説特別活動編で示されている内容では、「学級や学校の生

活において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりして生活すること」として

おり、人間関係の希薄化に伴う対人関係の未熟さが指摘されてきた中で、多様な他者と理解し合って、自他を

尊重する態度を養うことが重要だとしている。

（３）指導観

そこで、普段の生活のコミュニケーションに着目し、「GIGAワークブック」を活用することで同じ言葉や行動でも人によって感じ方が違うことに気付かせ、自分と相手との違いについて考えさせ、日々につながる心がけを意思決定して実践を促すことをねらいとする。今後児童が学校生活ひいては情報社会でよりよい人間関係の形成をしようとする態度につながるよう育成したい。

３　第３学年及び第４学年の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能 | 集団の一員としての話合い活動や実践活動を通した思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
| 日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。 | 日常生活への自己の適応に関する諸課題に気付き、解決方法などについて話し合い、よりよい解決方法を意思決定して実践している。 | 自己の生活をよりよくするために見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。 |

４　事前の指導

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す児童の姿  【観点】〈評価方法〉 |
| アンケートに記入する。 | ・情報機器の使用に関することや友達とのコミュニケーションのトラブルなどについて調査する。  ・これまでの生活を振り返る時間を設け、課題への意識を高められるようにする。 | ◎友達との関わり方ついて自己の生活を進んで振り返ろうとしている。　【主体的態度】〈アンケート〉 |

５　本時のねらい

　　同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付き、これからの生活で気を付けることを意思決定することができる。

６　板書計画

自分と相手とのちがい

　自分と相手とのちがいについて考えよう。

アンケート結果

カード

　　　たかし

自分と友だちとはちがう

カード

〈いやだと感じる順にならべよう〉　　　　　　　　　花　子

カード

　　　　　　　 〈友達と関わるときに大切なこと〉

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・自分は気にしなくても相手はいやかもしれない。

・相手の気持ちをよく考える。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・相手に許可をとる。

【参考】

・　一般財団法人LINEみらい財団.「GIGAワークブック」.

<https://line-mirai.org/ja/>(参照2022-2-21)

７　学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階  時間 | 主な学習内容  ◎主な発問 | ◯教師の働きかけ  ◆評価 |
| つ  か  む  （5） | １　事前アンケートの結果から、学級内で使われている言葉の実態を明確にする。  ２　本時の学習課題を把握する。   |  | | --- | | 自分と相手とのちがいについて考えよう。 | | ○　事前のアンケート結果を提示し、自分がいやだなと思う言葉についての学級の実態を捉えさせることで、本時のねらいに迫ることができるようにする。 |
| さ  ぐ  る  （10） | ３　「友達からされたらいやな行動」カードを並べ、気付いたことを話し合う。  （１）　自分が友達からされたらいやな順にカード教材を並べ、「一番いやだと感じるカードを選んだ理由」と「一番いやではないと感じるカードを選んだ理由」を書く。  （２） 考えを交流し、気付いたことを話し合う。  　　・　３人１組の小グループで  　　・　全体で | ○　考えすぎずにカードを並べるように促す。  ○　並べ方に戸惑う児童には、具体的な状況を想像させ、どのような気持ちになるかを考えさせる。  ○　カードの並び順が似ているグループには、どうしてもいやなところで線を引かせ、比較させることで自分と相手との違いに気付かせる。  ○　全体で共有する際は、何名かの児童の考えを取り上げ、自分と相手とでは違いがあることを確認し、違いに気付かずに相手がいやなことを自分がしていたかもしれないという自覚を促す。 |
| 見  つ  け  る  (20) | ４　カード教材を基にどのようなトラブルが起きる可能性があるかを考え、話し合う。  （１） 小グループで気付いたことを話し合う。  （２） 全体で共有する。  　　・　花子がたかしの写真を撮ってしまい、トラブルが起きそう。  　　・　花子が話しているのに、たかしがきちんと聞いてあげないことで、花子がいやな気持ちになりそう。  ５　友達と関わるときに大切なことについて話し合う。  　　・　相手の気持ちを考えて行動する。  　　・　相手に許可をとってから行動する。 | ○　教師がカードの並べ方の例を２つ提示し、どのようなトラブルが起きる可能性があるかを考えさせる。  ○　「自分がいやなことは相手にもしないことは正しいか」を問いかけ、思い込みが相手とのトラブルが起きる可能性があることを気付かせる。  ◆　友達との関わり方をよりよくするために大切なことを考えているか。【思考・判断・表現】（ワークシート・発表） |
| 決  め  る  （10） | ６　これからの生活で気を付けることを考え、意思決定する。 | ○　これからの生活で気を付けることを書くことに戸惑う児童には、本時の内容を振り返らせ、具体的な状況でどのような行動をとるかを考えさせる。 |

８　事後の指導

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す児童の姿 |
| ・　自分の立てた取り組みについ  て振り返る。  ・　友達同士で取り組みを確認し  合う。 | ・　事後に振り返る機会を設け、  継続した取り組みになるよう  に助言する。  ・　帰りの会などに友達同士で取  り組みを確認させ、互いのがん  ばりを励まし合うことにより、  実践の継続を図るようにする。 | ◎　今後の生活における友達と  の関わり方への見通しをもち、  自己の課題を改善しようとし  ている。 |

「自分と相手とのちがい」　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　名前

**１　友達からされたら「いやだな」と思う順に並べてみよう。**

**⑤**

　タブレットで勝手に写真をとられる。

**③**

　自分がいないところで自分の話をされる。

**④**

　自分が話をしている時によそを向いている。

**②**

なかなか会話が終わらない。

**①**

声をかけても返事をしてくれない。

いやだ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いやではない

　　　　　→　　　　　　→　　　　　　→　　　　　　→

　なぜなら・・・　　　　　　　　　　　　　　　　　　なぜなら・・・

**２　次の２人にはどのようなトラブルが起きる可能性があるのだろうか。考えてみよう。**

　＜たかし＞

**⑤**

　タブレットで勝手に写真をとられる。

いやだ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いやではない

**④**

　自分が話をしている時によそを向いている。

**③**

　自分がいないところで自分の話をされる。

**①**

声をかけても返事をしてくれない。

　＜花子＞

**②**

なかなか会話が終わらない。

**⑤**

　タブレットで勝手に写真をとられる。

**②**

なかなか会話が終わらない。

**①**

声をかけても返事をしてくれない。

**③**

　自分がいないところで自分の話をされる。

**④**

　自分が話をしている時によそを向いている。

**３　友達と話し合って感じたことを書いてみよう。**

|  |
| --- |
|  |

**４　友達との関わり方について、これからの生活で気を付けることを書こう。**

|  |
| --- |
|  |